

<多治見空手道教室だより>

H30. 8. 18

7月8日のブロック大会に大雨が降ってから、8月12日の審判講習の帰り道で、強い雨が降るまで1ヶ月以上も雨らしい雨が降らずに、毎日40度近い暑さのカンカン照りで、我が家の山の水源から引いている水も、段々やせ細っていたので、朝晩の水やりがとても負担になっていましたが、球根ものは水不足にも強く、パイナップルリリーと2mを超える高さの巨大ヤマユリは、今年も頑張ってな咲いてくれました。



パイナップルリリー

巨大ヤマユリ

それでも地球全体では温暖化が益々進んでいるのに、〇〇ファースト等と言っている、何処かの国の馬鹿な大統領は、温暖化を認めようとしなくて、これから益々暑くなり異常気象になったら、好きな花の栽培も出来なくなってしまいそうで、そろそろ花作りも限界の様な気がしています。

今日のお便りは東濃大会、インターハイ、全日本少年少女空手道大会結果をお知らせします。

記

1. 第32回東濃地区空手道大会 7/29(日) 多治見市笠原体育館

【入賞結果】(形) 幼児・小学1年: **優勝=西川原利紅**、**準優勝=畑中康佑**、**3位=梶田翔聖**、

小学2年: **優勝=浅井健琉**、小学3年: **3位=勝又歌音**、

小学4年: **優勝=前川源太**、小学5年: **優勝=浅井丈一郎**、**準優勝=小坂凜空**、**3位=高内陸豊**、

小学6年: **優勝=高倉凜生**、**準優勝=西川原未侑**、

中学生: **優勝=灰塚遙音**、**準優勝=服部晏奈**、**3位=木保 睦**、

高校一般男女: **優勝=木保 鼓**、**準優勝=勝又 愛**、

(組手): 幼児・1年生: **優勝=西川原利紅**、小学2年: **優勝=浅井健琉**、

中学生男子: **準優勝=灰塚遙音**

高校一般男子: **優勝=大谷旺史**、



形優勝 利紅 健琉 源太 丈一郎

凜生 遙音 鼓

〔総評〕岐阜県の大会申込がとても面倒だったので、NET上に登録して貰って、締め切り日にダウンロードして、一覧表を作成する方法を、東濃大会で試してみようとしたのですが、ドロップボックスに登録して貰う事も難しかった様で、質問が多かったために分かり易いマニュアルを作って送ったところ、やっと理解して下さいましたが、締め切り日にロックしなかったため、締めきり後に変更や追加があり、トーナメントに数件の抜けがあり、皆様にご迷惑をお掛けしました。

大会前から台風や熱中症が心配でしたが、冷房の効いた和室と保冷剤や冷たい飲み物のお陰で、数人の方が少し暑気を受けたものの、無事に大会を終ることが出来ました。

毎度の事ですが形はそれなりの成績は上げられましたが、相変わらず組手では他の道場に遅れを取っており、入賞した4名は個人的に飛び込みの鋭さを持っているだけで、何度も指摘するように練習量の問題ではなく、後ろ足の膝を曲げて一気に飛び出せる様に練習内容を変えなければ、組手では他の道場に追いつくことは出来ないことを理解して下さい。

大会終了後直ぐに、大会結果と写真を中日新聞に送りましたが、今回は西日本豪雨の義援金などの記事が殺到していたようで、8/9(木)の東濃版に鼓の形の写真と共に、結果が掲載されていました。

しかし、拳和会と拳聖館の拳(コブシ)の字が拳(キョ)になっており、何時もとは違うところで記事にしたようで、謝罪がありました。



多治見教室の参加者

2. インターハイ岐阜県大会 8/3(金)~6(月) メモリアル で愛ドーム

インターハイ岐阜県大会は高体連の主催ですが、空手道競技は岐阜県のメモリアルセンターが会場なので、岐

卓県連としてもお手伝いする必要があり、私も県連事務局として3・4・6日に参加し、3・4日は全空連の先生方の送迎などをお手伝いしました。

4日の午後本部席で見たら、多治見高校からブラカダーとして、有実夏、萌、鼓が参加しており、萌と鼓は同じ競技のブラカダーを二人揃ってやっており、とても格好良かったことと、二人にとって人生の中でもこんなことは2度と無いだろうと思い、ビデオで撮ってしまいました。

断りもなくお便りに載せてしまいますが、可愛い写真なのでお許し下さい。

5日は全国少年大会に行きましたが、6日は本部席で形・組手・団体組手の決勝戦の素晴らしい試合を、しっかり見ることが出来とても満足でした。



鼓と萌のブラカダー

3. 全日本少年少女空手道選手権大会 8/4・5(土・日) 東京武道館

8/4は開会式と組手があり、山口理事長の和道会美濃は、21名も出場して優勝1人、準優勝1人、3位1人、5位2人と言う素晴らしい成績だったそうです。

5日は形の日で、多治見を5時45分の電車で、青島・吉田・服部の3名で出かけ、東京武道館には9時15分に着き、1コートの上の観客席を確保して貰ったので、9時半からの試合開始には間に合いました。

最初の試合は利紅の1回戦で島根の選手に平安初段5-0で勝利し喜びましたが、2回戦の広島に2-3で惜敗してしまいました。

次の試合は健琉の1回戦で、山口の選手に平安5段5-0で勝利しましたが、健琉の2回戦の相手は神奈川の第2スーパーシードの選手で、1-4で負けてしまいました。

丈一郎の1回戦は熊本に平安5段5-0で勝利しましたが、2回戦はこちらもスーパーシードの大阪の選手に、見た目では勝ったと思いましたが、惜しくも2-3で負けてしまいました。

最後に登場した滉生は1回戦神奈川の選手で、平安5段を勢い良く打ちましたが、一番終わりの後屈立ちになる時に、グラッとやってしまい0-5の敗戦と言う結果でした。

毎年の事ですが東京武道館の試合は、狭い会場に8コートで試合をやり、選手の他、審判や記録員、監督やコーチも会場に大勢入っているので、コートの上に居る人が写ってしまいビデオの撮りは良くなかったです。

文部大臣旗の総合優勝は男女とも大阪で、岐阜は組手で頑張ったので男子は9位、女子は20位でしたが、残念ながら形では、ベスト8にさえ誰も入れずに入賞無しでした。



1回戦：利紅 健琉 丈一郎 滉生



武道館入口看板前で



2回戦：利紅 健琉 丈一郎



拳和会の参加者で記念撮影